

《平成 18 年度実施事業》

自主事業	受託事業
丹波アイデンティティ創造事業	
事務局運営事業 ① かつばダービーin 丹波 事務局運営	② 丹波食文化発信機構事務局運営
丹独イベント事業(丹波独自のイベント事業) ③ パラグライディングプレワールドカップ準備委員会事務局運営 ④ 丹波おつまみ選手権の開催	
丹波地域コーディネート事業	
中間支援事業 ① 民間主導型コミュニティーバス運行計画事業(どんだんバス事業)	まちづくり支援事業 ③ 集落支援アドバイザー派遣
森の市民育成事業	
丹波塾事業 ① まちなみ散策会 tekuteku の開催 ② M-1 グランプリ の開催	
古民家再生プロジェクト事業 ③ 古民家再生プロジェクト ④ 丹波古民家倶楽部事業	
丹波地域情報集発信事業	
情報誌事業 ① 情報誌「きのわ」事業	情報集発信事業 ④ 日本風景街道たんば三街道ルート業務の実施
HP 集発信事業 ② たんばニュースステーション	
GIS事業 ③ WebGIS 機能搭載「丹波リサーチマップ」事業	
丹波環境基金助成事業	
助成事業 ① 丹波環境基金の積立	

丹波アイデンティティ創造事業

① 第4回かっぱダービーin 丹波事務局運営

1. 事業の目的

水のきれいな河川上流域で行うかっぱ人形のレースを通して、環境問題への意識を啓発し、同時に収益金を丹波環境基金へ寄付することを目的とする。

2. 事業の概要

開催日時 : 10月15日(日)
開催場所 : 篠山市遠方 友湊川
主催 : 新かっぱダービー実行委員会
内容 : 参加者46名(エントリー46匹)
平成18年度環境基金
寄付金 5,865円



② 丹波食文化発信機構たんばる事務局運営

1. 事業の目的

丹波産認証ブランド「たんばる」を通して、丹波地域産食材の普及促進を行い、さらに、地域内生産者・団体の交流、地域外への食文化発信を行うことを目的とする。

2. 事業の概要

- ・丹波産ブランド認証
- ・丹波地域産農産物の地域内外への流通促進
- ・加工品の地域内ブース販売
- ・食をテーマとしたイベントの開催
- ・各種イベントへの出店
- ・丹波地域内生産者の交流促進、地域外生産者との交流橋渡し
- ・果樹研修会、直売所研修会等の実施
- ・交流農業マップ作成・頒布
- ・総会の開催(5月27日)



③ パラグライディングプレワールドカップ準備委員会事務局運営

1. 事業の目的

世界レベルのパラグライダー競技大会を丹波地域に誘致することにより、丹波地域の活性化を図るとともに、全国に先駆けてスポーツ大会をまちづくりの一環として行い、スポーツを通じたまちづくりのスタンダードを構築することを目的とする。



2. 事業の概要

開催日時 : 4月6日(木)～9日(日)

開催場所 : 丹波市・篠山市

(テイクオフゾーン :

丹波市青垣町 岩屋山)

主催 : パラグライディングプレワールドカップ準備委員会

後援 : 丹波県民局 丹波市 篠山市
丹波市教育委員会 篠山市教育委員会

内容 : 選手 87名 (うち海外 12名、台湾
韓国より参加)

役員、スタッフ 50名

4月7日に競技タスク成立(64.8Km)

その他は天候によりタスク不成立



(URL : http://www.jpa-pg.jp/11event/2006compe/jnl03pre_pwc/report/index.html)

3. その他の事項

平成 18 年 10 月、諸般の事情により 19 年 4 月
開催予定の同ワールドカップ開催を断念。
代替開催地が茨城県石岡市足尾山系となる。

④ 丹波おつまみ選手権の開催

1. 事業の目的

一般より公募した「丹波の地酒に合うおつまみ」の試食をお酒の試飲とともに実施することで、丹波産食材の魅力ある加工方法を開発するとともに、丹波の食文化を発信することを目的とする。

2. 事業の概要

開催日時 : 4月8日(土)

開催場所 : 篠山市 ユニトピアささやま

主催 : NPO 法人たんばぐみ

内容 : パラグライダープレワールドカップ丹波大会の出場選手を招待し、第2日目表彰式も兼ねて実施する。篠山デカンショ節保存会にご参加頂き、デカンショ踊りが披露された。

参加者 : 193名(うちスタッフ5名、出演者23名)



丹波地域コーディネート事業

① 民間主導型コミュニティーバス運行計画事業(どんどんバス事業)

1. 事業の目的

鉄道等による地域内の移動手段が乏しく、日常生活に自動車が不可欠な中、高齢者など自動車の運転に支障がある層を対象とし、「どんどんバス」(仮称)の運行により民間主導型で地域内移動手段の確保・生活利便性の向上を実現することを目的とする。



2. 事業の概要

検討事項 : 民間バス会社との交渉
法的問題の解決
現在の状況 : 運行準備の継続

② 集落支援アドバイザー派遣

1. 事業の目的

集落単位で行われている様々な地域活動に対し多角的な提案を行い、まちづくり支援を実施することを通して、丹波らしいいきいきとした生活文化を保持し発展させること目的とする。

2. 事業の概要

4 集落への支援を実施

集落	支援内容	備考
野上野 自治会 (丹波市 春日町)	丹波市が公募した一般廃棄物 処理施設建設地に応募するた め、野上野地区の将来のまちづ くりプラン策定をアドバイザー 一支援する。	野上野地区は丹波市一般廃棄物処 理施設建設委員会において審査さ れ、2月28日、同施設建設用地と して市長に答申された。
木津 自治会 (篠山市 今田町)	兵庫県立丹波林間学校の跡地 を、自然度と人工度に応じて4 段階に分け、その段階に応じて 住民の利活用を受け入れる取 組みを行う。	農地対策、水利向上等の調査が中 心で、地元住民との会合を開く のは1度にとどまった。
北野新田 里づくり 協議会 (篠山市 大山 地区)	山陰旧街道沿いの北野新田で は平成16年度から手作りの灯 籠を街道沿いに並べる「丹波た んころ」が始まったが、活動が 停滞気味となっており、今後の 取組みの方向性模索に対しア ドバイザー支援を行う。	行灯や花づくりの今後のあり方を 検討するとともに、住民が主体的 に地域づくりに参画する機会をつ くっていく。
ふるさと 和田振興 会 (丹波市 和田 地区)	少子高齢化、商店街の斜陽化に 伴い転換期を迎える集落に対 し、まちづくり意識の共有を図 るためにワークショップを開 催し、今後の同振興会の体制づ くりを支援した。	丹波市では市内全域で、地域づく り交付金制度に基づき小学校区単 位でのまちづくり活動がスタート する。同振興会として何ができる かを検討する。

森の市民育成事業

① まちなみ散策会 tekuteku の開催

1. 事業の目的

丹波地域の伝統的なまちなみにつき、講師を招き勉強会及び散策会を実施することで、地域への愛着を深め、その魅力を再発見することを目的とする。



2. 事業の概要

・第7回：山陰旧街道(柏原)散策

開催日時 : 3月18日

開催場所 : 丹波市柏原町会柏原

主催 : NPO 法人たんばぐみ・柏原城下町委員会・柏原まちづくり協議会

参加者 : 18名(柏原町12、山南町2、春日町1、篠山市1、京都府1、大阪府1)

内容 : 厄除け祭で知られる柏原の城下町を散策し、歴史と文化を学習する。当日は柏原八幡神社の月例祭(厄除け市)にあたり、その賑わいに触れる。柏原観光ボランティアの大西之晴氏による柏原の文化・風土についての案内及び兵庫丹波の森協会・丹波の森研究所専門研究員横山宜致氏による柏原の歴史の説明を受けつつ散策する。午後は柏原八幡神社宮司の千種正裕氏による基調講演が行われる。



・第8回：成松まちなみ散策会

開催日時 : 3月25日

開催場所 : 丹波市氷上町成松

主催 : NPO 法人たんばぐみ まちなみ景観部会

参加者 : 7名(氷上町4、柏原町1、山南町1、篠山市1)

内容 : 愛宕祭で知られる成松にて、妻入商家のまちなみを散策し、歴史と文化を学習するとともに、地域の歴史的建造物である



古民家の魅力を再発見する。案内は兵庫丹波の森協会・丹波の森研究所の横山宜致氏により、妻入商家の歴史的由来や建築時期の見分け方などの専門的見地からの説明がなされる。前成松連合区区長の高橋義治氏による講演会も同時に実施する。

② ^{むら-ワン}M-1 グランプリの開催

1. 事業の目的

特色ある地域活動を実施している集落等団体にご参加頂き、互いにプレゼンテーションを競い合うことで、地域の魅力を再発見・再認識するとともに、PR能力の向上を図ることを目的とする。同時に、出場団体の半数を丹波地域外から選定し、全県版として実施することにより、兵庫県内の各地域の相互交流を行い、共にまちづくり活動を活性化させる意識づくりを行うことを目的とする。



2. 事業の概要

- 大会名称 : 第2回 M-1 グランプリ in 丹波
開催日時 : 11月26日(日)
開催場所 : 青垣住民センター
参加人数 : 84名
共催 : 地域ビジョン委員会、住民主体の魅力ある地域づくりグループ、ひょうごふるさと交流会議
後援 : 丹波県民局
協力 : 篠山市、丹波市
出場集落 : 桑原自治会(篠山市桑原)
柏原まちづくり協議会(丹波市柏原町)
棚原相撲甚句保存会(丹波市春日町)
乾劇団(篠山市乾新町)
城下町八木の明日を創る会(養父市)
中山台コミュニティ(宝塚市)
大島太鼓保存会(尼崎市)
中村町むらづくり協議会(多可町)



③ 古民家再生プロジェクト

1. 事業の目的

現在の民間市場原理では壊されていく貴重な地域資産（古民家）を後世に残す新しい仕組みを構築することを目的とする。



2. 事業の概要

開催日時 : 毎月第1・3土曜

開催場所 : 篠山市立町 85

活動 :

実施回数	実施日	活動内容	場所
第10回活動（第3回ボランティア講座）	4月8日	床補修の考え方（講義） 土台と基礎の墨付け、加工	立町の町屋
第11回活動（第4回ボランティア講座）	4月22日	道具の扱いと手入れ（講義） 土台と基礎の墨付け、加工	大西工務店 立町の町屋
第12回活動（第5回ボランティア講座）	5月6日	家の「ジャッキアップ」と傾き直し 土台と耐力壁柱の設置	立町の町屋
第13回活動（第6回ボランティア講座）	5月20日	基礎の型枠づくり 土台と耐力壁柱の設置	立町の町屋
第14回活動（第7回ボランティア講座）	6月3日	基礎と床下のコンクリート 打設	立町の町屋
第15回活動（第8回ボランティア講座）	6月17日	耐力壁づくり	立町の町屋
第16回活動（第9回ボランティア講座）	7月1日	耐力壁づくり 添え柱の設置	立町の町屋
第17回活動（第10回ボランティア講座）	7月15日	大引きの設置	立町の町屋
第18回活動	8月5日	大引きの設置	立町の町屋
第19回活動	8月19日	大引きの設置	立町の町屋
第20回活動	9月2日	根太の設置	立町の町屋
第21回活動	9月16日	根太の設置、床断熱材の施工	立町の町屋
第22回活動	10月7日	床板の施工、床断熱材の施工	立町の町屋
第23回活動	10月21日	床板の施工、格子戸の調製	立町の町屋
第24回活動	11月2日	床板の施工、外壁の施工	立町の町屋
第25回活動	11月18日	床のやり直し、外壁の一部の	立町の町屋

		施工、裏の開口部の解体	
第 26 回活動	12 月 2 日	床仕上げ、出格子の施工	立町の町屋
第 27 回活動	12 月 16 日	床仕上げ、出格子の施工	立町の町屋
第 28 回活動	平成 19 年 1 月 6 日	床仕上げ	立町の町屋
第 29 回活動	1 月 20 日	床仕上げ	立町の町屋
第 30 回活動	2 月 3 日	床仕上げ	立町の町屋
第 31 回活動	2 月 17 日	床仕上げ	立町の町屋
第 32 回活動	3 月 3 日	土壁づくり	立町の町屋
第 33 回活動	3 月 17 日	土壁の補修	立町の町屋

3. その他の実施事項

・古民家ファンド講習会の開催

目 的 : 失われゆく古民家を後世に保存継承するための仕組みづくりとして、古民家再生プロジェクト改修工事と連動するファンドづくりの意見交換会を行う。

開催日時 : 平成 19 年 1 月 9 日

開催場所 : 才本建築事務所 篠山事務所

活 動 : NPO 法人たんばぐみ まちなみ景観部会員 5 名
NPO 法人たんばぐみ事務局 2 名
オブザーバー 2 名



・地域住宅計画賞への応募、奨励賞の受賞

地域住宅計画推進協議会（東京都）の主催するコンペティションにて、『平成 18 年度地域住宅計画奨励賞《活動・まちづくり部門》』を受賞。

《参考ホームページ》

(URL : <http://www.tambagumi.com/user/bureau/school/kominka/jyusyou.htm>
<http://hope.kenken.go.jp/DataBase/h18/db-top-h18-001.html>)



・apbank への融資応募、審査通過

apbank(東京都)は、小林武史・桜井和寿・坂本龍一が中心となり、「可能性ある

新しい未来をつくろうとしている環境プロジェクトに融資を行う」という目的で設立された金融 NPO。平成 19 年 3 月末までに、apbank の第 1 次審査、第 2 次審査を経て採択を得た。これにより、立町の町屋改修に必要な資金の一部が確保され、同時に全国的な活動 PR 効果も期待できる。

- ・ウェブシステムを通じた会員管理・広報 PR 活動

ボランティア参加者の管理及び参加者間の情報交流、並びに本活動の情報発信のため、ボランティア参加者間の情報交流の場としてのメーリングリストの運用、ホームページの運用・維持管理を行う

(URL : <http://www.tambagumi.com/user/bureau/school/kominka/index.htm>
<http://www.eonet.ne.jp/~kominka/>
<http://blog.livedoor.jp/tambakominka/>)

④ 丹波古民家倶楽部事業

1. 事業の目的

まちなみ散策会、古民家再生プロジェクト見学会などの交流イベントを開催するとともに、古民家再生や丹波の田舎暮らしに関する情報を情報誌やホームページ等を通じて発信することにより、古きよきまちなみの魅力を PR し、田舎暮らし希望者の掘り起こし等を行うことを目的とする。

2. 事業の概要

- ・まちなみ散策会 tekuteku(第 8 回：成松)の開催
- ・丹波古民家再生プロジェクト見学会(3 月 17 日)の開催
- ・丹波地域情報誌「きのわ」にて PR 記事の掲載
- ・丹波の田舎暮らし PR リーフレットの作成
- ・ホームページ作成 (URL : <http://www.tambagumi.com/user/bureau/kominka/>)

丹波地域情報集発信事業

① 情報誌「きのわ」発行

1. 事業の目的

丹波地域の特色ある文化的資産を発掘しつつ、地域住民が共に活動する社会を創り、魅力あるいきいきとした「丹波」を地域内外へ発信することを目的とする。

2. 事業の概要

発行回数 : 11回

発行部数 : 各回 5,000部

各号の内容 : 19号 ちょっとお出掛け・桜特集

20号 パラグライディングプレワールドカップ特集

21号 古民家再生プロジェクト特集

22号 夏祭り特集

23号 のじぎく兵庫国体特集①

24号 のじぎく兵庫国体特集②

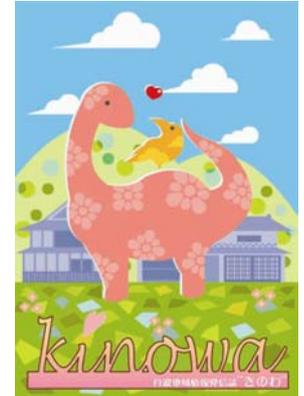
25号 秋祭り特集

26号 丹波の味覚特集

27号 M-1 グランプリ特集

28号 丹波の風景街道特集

29号 恐竜特集



② たんばニュースステーション

1. 事業の目的

丹波地域の様々な情報を発掘・収集し、地域内外に発信することにより、丹波地域への愛着を深めるとともに、特色ある地域文化を広域にPRすることを目的とする。

2. 事業の概要

事業内容 : 一般市民からの提供情報をメディア各社に配信する他、たんばぐみ管理HPにも掲載する。

発表件数 :

4月	4件
5月	3件
6月	2件
7月	1件
8月	0件
9月	0件
10月	0件
11月	0件
12月	0件
1月	1件
2月	0件
3月	1件

③ 日本風景街道たんば三街道ルート業務

1. 事業の目的

自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりを通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した「日本風景街道（シーニック・バイウエイ・ジャパン）」の推進を図るため、「日本風景街道“たんば三街道”」に関する地域づくり勉強会等を通して地域住民等の日本風景街道に対する理解を深めるとともに、「日本風景街道“たんば三街道”」の活動内容を広く市民に周知し、地域活動団体等の協力を得て活動の活発化を図ることを目的とする。

2. 事業の概要

- ・情報誌「きのわ」への地域情報掲載
- ・丹波リサーチマップへの地域情報掲載
- ・ホームページ「たんば風景街道」の開設

(URL : http://www.tambagumi.com/user/bureau/knowns/scenic_byway_in_tamba/)

- ・地域づくり勉強会として、まちなみ散策会 tekuteku を行う(第7回：山陰旧街道散策会)

④ WebGIS機能搭載「丹波リサーチマップ」事業

1. 事業の目的

丹波地域の「知る」「見る」「食べる」「遊ぶ」「作る」「住む」の6テーマの情報を収集し、WebGIS(地理情報システム)より発信することを通し、丹波地域の様々な施設や活動を地域内外にPRすることを目的とする。

2. 事業の概要

- URL : <http://www.tamba-map.com/>
- サーバの保守管理
- 新規情報の登録
- 登録情報の更新



丹波環境基金事業

① 基金助成

1. 事業の目的

丹波地域の環境を保全することを通し、次世代に住みよい丹波地域を継承するとともに、地域内外に自然溢れる豊かな丹波の魅力を PR することを目的とする。

2. 事業の概要

- ・丹波環境基金 預金額（18 年度末時点）：

138,174 円

- ・全額を 19 年度に繰り越す。



その他の事項別状況

① 理事会

総会及び理事会開催日程

日付	事業内容	場所
4月19日	定例理事会	モクリン
5月17日	定例時理解	モクリン
5月30日	総会	丹波の森公苑
6月28日	定例理事会	モクリン
7月26日	定例理事会	モクリン
8月2日	臨時理事会	モクリン
8月23日	定例理事会	モクリン
9月20日	定例理事会	モクリン
9月26日	臨時理事会	モクリン
10月2日	臨時理事会	モクリン
10月16日	臨時理事会	モクリン
10月18日	定例理事会	モクリン
11月15日	定例理事会	モクリン
12月20日	定例理事会	モクリン
2月21日	定例理事会	モクリン
3月19日	定例理事会	モクリン

② 会員数

種別	人数
個人正会員	38
個人賛助会員	8
法人正会員	3
法人賛助会員	0

③ 役員

役職名	氏名
理事長	坂東隆弘
副理事長	横山宜致
副理事長	杉尾吉弘
理事	浅倉陽子
理事	婦木克則
理事	吉見憲子
理事	古杉和広
理事	土田光一
理事	高見豊
理事	山下一彦
理事	荒木豊和
理事	西垣健太郎
監事	大西之晴
監事	並河達也